捕えられた伍長（1961）

LE CAPORAL EPINGLE

メディア 映画
ジャンル コメディ　ドラマ　戦争
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 105分
初公開日 1988/01/09
公開情報 ケイブルホーグ

【解説】

「大いなる幻影」を思わせる、捕虜収容所からの脱出を描く物語だが、あの崇高にヒューマニズムを謳いあげた作品と較べれば、実に軽妙で自由闊達、これぞルノワール映画である。第一次大戦と第二次大戦との時代背景の差（階級意識やナショナリズムさえも後者ではかき消えつつある）はあるが、それは最晩年に到るにあたり、ますます大らかな表現を志向する老匠の精神の若さに負う所、大であろう。’４０年６月の独仏休戦協定で解放されると信じて当ての外れた伍長たちは、収容キャンプからの脱出を試みる度に失敗し、次第に祖国から引き離され、仲間も失っていくが、不屈の闘志の持ち主（というか脱走が人生の目的化している）である伍長と彼の腹心パテールは、ドイツ娘の歯科助手の援助もあって、遂に逃亡に成功する。それを“普通の人物の日常的な戦い”として描きたかったと言うルノワールは、おかしみの中に痛みを盛り込んでも決して感傷に流されない、ひたすら自由に向かって歩き続けるような、前のめりの映画にしてみせた。

【クレジット】

監督	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
原作	ジャック・ペレ	
脚本	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
	ギイ・ルフラン	Guy Lefranc
撮影	ジョルジュ・ルクレール	Georges Leclerc
音楽	ジョセフ・コズマ	Joseph Kosma
出演	ジャン＝ピエール・カッセル	Jean-Pierre Cassel
	クロード・ブラッスール	Claude Brasseur
	クロード・リッシュ	Claude Rich
	ジャン・カルメ	Jean Carmet

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.